

◇ 5月の天文暦 ◇

日時	記事
1 23	月 最近
3 ^d ~10 ^d	流星群 水瓶座 γ
5 6	望
6 8	立夏 (太陽黄経 45°)
12 9	天王星 衝
12 20	下弦
13 22	月 最遠
20 19	朔
21 22	小満 (太陽黄経 60°)
27 18	上弦
27 23	月 最遠



星雲めぐり (4)

前回のいわゆるマゼラン雲類似の Irr I 型以外に、Irr II 型の不規則型星雲がある。分類の目安は、廻転対称形を示さないことは同じであるが、写真ではきめのなめらかな、星や明るい領域に分解されず、しばしば吸収暗黒条が交差しているといった様子星雲である。

代表的例は、M 82 (NGC 3034) である。この星雲については、多くの注目がそそがれ、観測資料も割合多く、双極型の磁場が予期されたり、中心部からの爆発のモデル、ハロに於けるシンクロトン機構など、すでに本誌でも紹介されているように話題の多い星雲である。

写真 NGC 520 も Irr II 型に分類されている星雲のひとつで、光の造形写真まがいの様相をしている。吸収条が表面を交差して、淡い細い光脈が左右に伸びている。カタログによっては、初期渦状星雲の衝突した一対という註しやくも見うけられるが、むしろ M 82 型の系であるとする見方もある。ハーシェル、ウォルフ等大昔の星雲分類のスケッチ図は、今風のかつらの如き奇妙な形もさまざま見られるが、この NGC 520 はハブル星雲写真集の中でも珍形に属する星雲である。(α₁₉₅₀ = 1^h 22^m, δ₁₉₅₀ = 3° 32', 魚座, m_B = 12^m75, C_{B-V} = 0^m85, RV = 2223 km/sec).

東京における日出入および南中 (中央標準時)

V月	夜明	日出	方位	南中	高度	日入	日暮
日	時分	時分		時分		時分	時分
1	4 16	4 50	+19°1	11 38	69°2	18 27	19 1
11	4 5	4 40	+22.7	11 37	72.1	18 35	19 11
21	3 56	4 32	+25.7	11 37	74.4	18 43	19 20
31	3 50	4 27	+27.9	11 38	76.2	18 50	19 28

各地の日出入補正值 (東京の値に加える)

(左側は日出, 右側は日入に対する値)

分	分	分	分	分	分
鹿児島 +45	+29	鳥取 +22	+22	仙台 -10	+1
福岡 +42	+33	大阪 +19	+15	青森 -15	+8
広島 +32	+27	名古屋 +12	+10	札幌 -24	+11
高知 +29	+21	新潟 -2	+8	根室 -41	-5

